

科目名		地形測量実習			
担当教員		細海 幹人		実務授業の有無	有
対象学科	測量建設科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	授業形式	実習	時間数	48時間
授業概要、目的、授業の進め方	地形測量の基本として平板やTS(トータルステーション)を用いた地形測量実習を通じて基本的な技術を習得する。また、古い測量技術と新しい測量技術の違いを実体験にて確認する。				
学習目標 (到達目標)	2,3次元測量や座標化できることを目指す。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	プリント				
NO.	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	TSによる地物測量及びTS点の設置		TSによる地物測量及びTS点の設置について学習する。(2次元)		
2	平板の取り扱い		平板の用具の名称、使い方及び求心、整置について学習し、特に、アリダートの目盛盤の縮尺について理解する。		
3	平板を用いた放射法による地物測量		平板を用いた放射法による地物測量の実習を行う。また現地または教室で図化する。		
4	GNSSによる地形測量		実際にGNSS測量器械を使い地物測量を行い、基本的な操作方法を学習する。		
5	支距法(オフセット法)		支距法(オフセット法)による地物測量を行う。教室内で実際の作業を行ってみる。		
6	等高線の描画		TS・レベルによる観測結果に基づいた等高線の描画を行う。		
7	等高線の測定方法と計算		直接法・間接法の違いとその特徴を理解し、簡単な計算や作図を行う。		
8					
9					
10					
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
評価テスト	課題			測量会社・建設会社においても頻繁に使う測量です。この実習ではたくさん測量器械を操作し、体験を通して学んでいきます。将来仕事で活用できるように積極的に取り組んでください。	
30 %	70 %	%	%		
成績評価基準は					
A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		建設会社において測量を含む施工管理実務15年			